

5人の人間国宝の作品が競演！！

## 「横浜人形の家名品展」開催！！

会期:9月15日(土)~11月18日(日)

横浜人形の家では、毎年この時期に、平田郷陽作品を始め所蔵作品のなかでも特に人気の高い人形を展示する名品展を開催しています。本年は、前期では平田郷陽を軸に5人の人間国宝の作品を展示、後期で海外の人形を紹介し、各々の名品をゆったりとご覧いただきます。

### ◆前期の見どころ

#### ○平田郷陽を中心に5人の人間国宝の作品展示(展示作品30点のうち23点が人間国宝の作品)

人形の分野ではじめて重要無形文化財保持者(人間国宝)の指定を受けた人形作家、平田郷陽。郷陽は、確かな技術を基に約50年間の製作活動の中で作風を変えています。「粧ひ」「児と女房」「児戯興趣」など当館が所蔵する17点を一挙に展示するほか、生人形など関連作品の展示や、年表・作品のパネル展示などを通して郷陽の制作活動を紹介します。

また、ほぼ同時代に活躍し、人間国宝の指定を受けた鹿兒島寿蔵、堀柳女や野口園生の作品や、市橋とし子、郷陽の弟子・芹川英子の作品を展示いたします。

#### ○展示構成

##### 1. 平田郷陽の世界

郷陽作品を年代順に展示、そのほか、パネルなどで郷陽の製作活動を紹介します。そのほか、同時代の作家の作品なども関連作品として展示します。

- ・大正末~昭和9年 生人形師の二代目として
- ・昭和10年 「人形芸術」の確立に向けて
- ・昭和20年代 写実からの脱却
- ・昭和30年代 伝統とわざの継承
- ・昭和40年代以降 郷陽芸術の大成

##### 2. 師・平田郷陽から弟子・芹川英子へ

芹川英子「籠釣瓶花街酔醒 八ツ橋」を展示します。

##### 3. 人間国宝

平田郷陽と違って人形師の家系の出身ではなくアマチュア作家から制作活動に入った鹿兒島寿蔵、女流作家の先駆け堀柳女とその弟子の野口園生や市橋とし子の人形を展示します。



平田郷陽「粧ひ」  
昭和6年

→裏面もご覧ください

### お問い合わせ先

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 企画戦略部門  
広報担当マネージャー 中村 淳 TEL: 045-221-2111

\*本日は19:00まで在席しております。

## ◆後期の見どころ

### 歴代の人気者大集合！！

当館が所蔵するフランスやドイツのビスクドールの中でも大型のものや、希少性の高い人形を展示するほか、イタリアのレンチドールなど、毎年来館者に根強い人気を持つ作品を紹介いたします。

また、1910年頃の初期のシュタイフのテディベアや20世紀前半のキューピーなど、誕生以来、人気があり、知名度の高い人形も紹介いたします。



ビスクドール、ベベタイプ ポートレートジュモ  
1890年代

#### 開催概要

会期:2012年9月15日(土)~11月18日(日)

前期 9月15日(土)~10月21日(日)

後期 10月25日(木)~11月18日(日)

※会期半ばで展示の入替えを行いません。

※10月23日(火)、24日(水)は展示替え作業のため、第3展示室は閉室、常設展示のみのご観覧となります。

会場:横浜人形の家3階 第3展示室

開館時間:9時30分~17時(入館は16時30分まで)

休館日:毎週月曜日〔月曜祝日の場合は開館し、翌火曜日休館〕

入館料:おとな(高校生以上)300円 こども(小・中学生)150円

## 同時開催！！特集企画

### 県立近代文学館 寺村輝夫「ぼくは王さま」関連企画 「寺村輝夫の王さまとアフリカ」

会期:2012年8月14日(水)~9月30日(日)

場所:2階常設展示内 トピックスコーナ

●横浜人形の家では、近代文学館、岩崎博物館と連携した寺村輝夫の関連企画として、寺村輝夫の愛したアフリカの世界を人や動物の人形、絵本と写真パネルで紹介いたします。

特に、今回展示する写真パネルは寺村輝夫ご自身が撮影された画像をパネルにしたものです。どうぞお楽しみください。



寺村輝夫氏



アフリカの人形たち